

現地に学ぶシリーズ

大高緑地を歩こう！

三月十三日に十一人の参加で「現地に学ぶ・大高緑地を歩こう！」を行いました。

「大高緑地を愛する会」の溝口会長さんらに「恐竜パーク」の建設予定地の大高緑地公園を案内していただききました。



「恐竜パーク」は、愛知県が県営の公園の活性化のために、使用料収入を得るため民間事業者を募集し、有料の民間施設「デイノアドベンチャーライド名古屋」（恐竜パーク）ができることになった。使用料は年間一千万円程度になる見込み。利用料金は大人一回千三百円／中学生以下一回九百円となる予定で、年間利用者には十万人を見込んでい

る。建設予定地になっていくところは、緑豊かな森になっていくところであった。樹木の説明や土地の歴史、思い出などを聞きながら樹林の中を歩きました。この森は、大高緑地に遊びに来た人たち、近所の子供から大人までの多くの人たちの散歩、自然観察などに利用されている。この森に、カー

トが走る道路をつくり、恐竜約三十体を設置する。当然、樹木は伐採されることになる。伐採しないで残して欲しいと思われる樹木に、自然観察会のグループの人たちが名札をつけていた。予定地には、すでにトラロープが張られ、中へ入れないようになっていた。森の横は、若草山と呼ばれる芝生広場があり、名古屋市街を含め遠方まで見渡すことができる。芝生広場は、多くの子供連れが遊んだりしていた。有料施設のため、自由に出入りはできなくなる。今まで自由に散歩できた場所から県民は追い出されることになる。愛する会をはじめ多くの人たちが、「住民説明会」の開催を要求しましたが、愛知県は、「大高緑地公園は、県のものだから」説明会は必要ないという姿勢をとり続けている。大高緑地公園の樹林の中や、芝生の広場を自由に散策できる当たり前のことの重要性を感じる日であった。